

## 2023年度収支決算案

2023年度収支決算案（審議資料2・添付『2023年度会計報告等及び2023年度監査報告』の1.収支決算案（1）～（4））について、承認を求めます。

## 2023年度会計報告等及び2023年度監査報告



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

## 2023年度会計報告等

## 1.収支決算案

(1) 貸借対照表	—	1
(2) 正味財産増減計算書	—	2
正味財産増減計算書内訳表		
(3) 財務諸表((1)及び(2))に対する注記及び附属明細書	—	4
(4) 財産目録	—	8

2.公益目的支出計画実施報告書案	—	9
------------------	---	---

## 2023年度監査報告

## 3.独立監査人の監査報告書

## 4.監事監査報告書

# 貸借対照表

2024年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	591,751,531	527,792,670	63,958,861
未収金	42,657,208	55,092,772	△ 12,435,564
未収利息	5,536,076	3,635,053	1,901,023
未収税金	2,579,886	165,195	2,414,691
前払金	1,926,282	2,034,311	△ 108,029
預け金	20,633	13,985	6,648
前払費用	6,511,116	7,196,444	△ 685,328
流動資産合計	650,982,732	595,930,430	55,052,302
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
国際会議参加支援資金	5,193,889	3,869,678	1,324,211
減価償却引当資産	201,719,173	201,719,173	0
インターネット基盤整備基金資産	1,319,402,097	1,256,967,484	62,434,613
特定資産合計	1,526,315,159	1,462,556,335	63,758,824
<b>(2) その他固定資産</b>			
建物附属設備	14,395,005	15,641,763	△ 1,246,758
構築物	996,402	1,124,970	△ 128,568
什器備品	20,137,916	19,939,325	198,591
ソフトウェア	59,358,256	48,593,306	10,764,950
電話加入権	61,843	61,843	0
敷金	13,344,024	13,344,024	0
関連会社株式	140,170,000	140,170,000	0
長期前払費用	1,383,844	1,446,093	△ 62,249
繰延税金資産	5,860,309	5,903,606	△ 43,297
その他の固定資産合計	255,707,599	246,224,930	9,482,669
固定資産合計	1,782,022,758	1,708,781,265	73,241,493
<b>資産合計</b>	<b>2,433,005,490</b>	<b>2,304,711,695</b>	<b>128,293,795</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	34,914,593	43,987,888	△ 9,073,295
預り金	2,556,625	855,201	1,701,424
賞与引当金	23,202,035	23,636,366	△ 434,331
未払消費税等	6,243,600	11,981,900	△ 5,738,300
未払法人税等	5,701,000	5,106,600	594,400
流動負債合計	72,617,853	85,567,955	△ 12,950,102
<b>負債合計</b>	<b>72,617,853</b>	<b>85,567,955</b>	<b>△ 12,950,102</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
指定正味財産合計	5,193,889	3,869,678	1,324,211
(うち特定資産への充当額)	(5,193,889)	(3,869,678)	1,324,211
<b>2 一般正味財産</b>			
(うち特定資産への充当額)	2,355,193,748	2,215,274,062	139,919,686
(うち特定資産への充当額)	(1,521,121,270)	(1,458,686,657)	(62,434,613)
正味財産合計	2,360,387,637	2,219,143,740	141,243,897
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>2,433,005,490</b>	<b>2,304,711,695</b>	<b>128,293,795</b>

(注) 実施事業資産は次のとおりです。

    その他固定資産    什器備品    6,014,641

# 正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	(27,990,520)	(26,385,668)	(1,604,852)
減価償却引当資産受取利息	4,045	4,034	11
インターネット基盤整備基金資産受取利息	27,986,419	26,381,624	1,604,795
ICANN等積立資産受取利息	0	10	△ 10
受取寄付基金資産受取利息	56	0	56
② 受取会費	(88,100,000)	(88,300,000)	(△ 200,000)
正会員受取会費	84,200,000	84,200,000	0
賛助会員受取会費	3,900,000	4,100,000	△ 200,000
③ 事業収益	(447,324,369)	(450,122,826)	(△ 2,798,457)
インターネット基盤整備事業収益	83,017,114	89,758,522	△ 6,741,408
IPアドレス事業収益	364,307,255	360,364,304	3,942,951
④ 受取助成金	(210,000)	(212,000)	(△ 2,000)
受取助成金	210,000	212,000	△ 2,000
⑤ 受取寄付金	(1,675,789)	(2,138,315)	(△ 462,526)
受取寄付金振替額	1,675,789	2,138,315	△ 462,526
⑥ 雑収益	(58,958,737)	(44,732,712)	(14,226,025)
受取利息	7,563	6,528	1,035
受取配当金	58,170,000	41,550,000	16,620,000
雑収益	781,174	3,176,184	△ 2,395,010
経常収益計	624,259,415	611,891,521	12,367,894
(2) 経常費用			
① 事業費	(442,216,720)	(423,979,195)	(18,237,525)
インターネット基盤整備事業費	155,458,788	146,642,918	8,815,870
IP事業費	286,757,932	277,336,277	9,421,655
② 管理費	(89,513,741)	(92,871,807)	(△ 3,358,066)
管理費	89,513,741	92,871,807	△ 3,358,066
経常費用計	531,730,461	516,851,002	14,879,459
評価損益等調整前当期経常増減額	92,528,954	95,040,519	△ 2,511,565
特定資産評価損益等	62,434,613	6,896,174	55,538,439
評価損益等計	62,434,613	6,896,174	55,538,439
当期経常増減額	154,963,567	101,936,693	53,026,874
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1,323,293	△ 1,323,293
経常外費用計	0	1,323,293	△ 1,323,293
当期経常外増減額	0	△ 1,323,293	1,323,293
税引前当期一般正味財産増減額	154,963,567	100,613,400	54,350,167
法人税、住民税及び事業税	15,000,584	13,426,912	1,573,672
法人税等調整額	43,297	40,833	2,464
当期一般正味財産増減額	139,919,686	87,145,655	52,774,031
一般正味財産期首残高	2,215,274,062	2,128,128,407	87,145,655
一般正味財産期末残高	2,355,193,748	2,215,274,062	139,919,686
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	3,000,000	5,000,000	△ 2,000,000
一般正味財産への振替額	△ 1,675,789	△ 2,138,315	462,526
当期指定正味財産増減額	1,324,211	2,861,685	△ 1,537,474
指定正味財産期首残高	3,869,678	1,007,993	2,861,685
指定正味財産期末残高	5,193,889	3,869,678	1,324,211
III 正味財産期末残高	2,360,387,637	2,219,143,740	141,243,897

# 正味財産増減計算書内訳表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計 (インターネット基盤整備事業)	その他会計 (IP事業)	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	(56)	(0)	(27,990,464)		(27,990,520)
減価償却引当資産受取利息	0	0	4,045		4,045
IN基盤整備基金資産受取利息	0	0	27,986,419		27,986,419
受取寄付金資産受取利息	56	0	0		56
受取会費	(0)	(0)	(88,100,000)		(88,100,000)
正会員受取会費	0	0	84,200,000		84,200,000
賛助会員受取会費	0	0	3,900,000		3,900,000
事業収益	(83,017,114)	(364,307,255)	(0)		(447,324,369)
IN基盤整備事業収益	83,017,114	0	0		83,017,114
IP事業収益	0	364,307,255	0		364,307,255
受取助成金	(210,000)	0	0		(210,000)
受取助成金	210,000	0	0		210,000
受取寄付金	(1,675,789)	(0)	(0)		(1,675,789)
受取寄付金振替額	1,675,789	0	0		1,675,789
雑収益	(693,110)	(57,619)	(58,208,008)		(58,958,737)
受取利息	0	0	7,563		7,563
受取配当金	0	0	58,170,000		58,170,000
雑収益	693,110	57,619	30,445		781,174
経常収益計	85,596,069	364,364,874	174,298,472		624,259,415
(2) 経常費用					
事業費	(155,458,788)	(286,757,932)	(0)		(442,216,720)
給与手当	71,466,530	79,414,655	0		150,881,185
退職給付費用	4,026,837	4,645,091	0		8,671,928
賞与引当金繰入額	10,206,792	10,943,808	0		21,150,600
法定福利費	9,823,177	11,833,800	0		21,656,977
福利厚生費	248,147	282,294	0		530,441
懇親会費	780,000	0	0		780,000
会議費	1,108,977	90,188	0		1,199,165
交際費	551,164	197,490	0		748,654
旅費交通費	8,593,443	6,223,506	0		14,816,949
通信運搬費	7,607,740	8,878,449	0		16,486,189
減価償却費	4,712,068	19,305,123	0		24,017,191
消耗什器備品費	825,656	939,271	0		1,764,927
消耗品費	352,273	396,064	0		748,337
保守料	3,056,817	23,121,231	0		26,178,048
図書費	28,698	32,648	0		61,346
印刷製本費	1,827,198	2,012,781	0		3,839,979
光熱水料費	1,850,687	4,573,496	0		6,424,183
その他賃借料	7,474,013	10,930,592	0		18,404,605
不動産賃借料	6,733,672	7,660,273	0		14,393,945
機器賃借料	0	1,306,200	0		1,306,200
火災保険料	13,390	15,233	0		28,623
保険料	41,618	43,913	0		85,531
諸謝金	2,893,565	364,330	0		3,257,895
租税公課	5,491,388	22,818,379	0		28,309,767
支払負担金	450,858	54,502,972	0		54,953,830
研修費	608,624	488,624	0		1,097,248
業務委託費	3,962,615	15,194,802	0		19,157,417
支払手数料	407,894	304,277	0		712,171
雑費	314,947	238,442	0		553,389
管理費	(0)	(0)	(89,513,741)		(89,513,741)
給与手当	0	0	37,959,894		37,959,894
退職給付費用	0	0	2,035,851		2,035,851
賞与引当金繰入額	0	0	2,051,435		2,051,435
法定福利費	0	0	5,080,031		5,080,031
福利厚生費	0	0	155,239		155,239
懇親会費	0	0	952,000		952,000
会議費	0	0	1,550,588		1,550,588
交際費	0	0	126,842		126,842
旅費交通費	0	0	2,168,128		2,168,128
通信運搬費	0	0	3,003,147		3,003,147
減価償却費	0	0	2,010,394		2,010,394
消耗什器備品費	0	0	516,519		516,519
消耗品費	0	0	217,163		217,163
保守料	0	0	1,912,305		1,912,305
図書費	0	0	17,953		17,953
印刷製本費	0	0	1,789,117		1,789,117
光熱水料費	0	0	1,157,767		1,157,767
その他賃借料	0	0	1,436,849		1,436,849
不動産賃借料	0	0	4,212,499		4,212,499
火災保険料	0	0	8,377		8,377
保険料	0	0	23,599		23,599
諸謝金	0	0	13,744,315		13,744,315
損害保険料	0	0	274,960		274,960
租税公課	0	0	4,651,175		4,651,175
支払負担金	0	0	538,717		538,717
研修費	0	0	169,129		169,129
業務委託費	0	0	1,465,741		1,465,741
支払手数料	0	0	152,885		152,885
雑費	0	0	131,122		131,122
経常費用計	155,458,788	286,757,932	89,513,741		531,730,461
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 69,862,719	77,606,942	84,784,731		92,528,954
特定資産評価損益等	0	0	62,434,613		62,434,613
評価損益等計	0	0	62,434,613		62,434,613
当期経常増減額	△ 69,862,719	77,606,942	147,219,344		154,963,567
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 69,862,719	77,606,942	147,219,344		154,963,567
法人税、住民税及び事業税	0	14,930,584	70,000		15,000,584
法人税等調整額	0	43,297	0		43,297
当期一般正味財産増減額	△ 69,862,719	62,633,061	147,149,344		139,919,686
一般正味財産期首残高	△ 91,393,339	535,065,091	1,771,602,310		2,215,274,062
一般正味財産期末残高	△ 161,256,058	597,698,152	1,918,751,654		2,355,193,748
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	(1,324,211)	(0)	(0)		(1,324,211)
受取寄付金	3,000,000	0	0		3,000,000
一般正味財産への振替額	△ 1,675,789	0	0		△ 1,675,789
当期指定正味財産増減額	1,324,211	0	0		1,324,211
指定正味財産期首残高	3,869,678	0	0		3,869,678
指定正味財産期末残高	5,193,889	0	0		5,193,889
III 正味財産期末残高	△ 156,062,169	597,698,152	1,918,751,654		2,360,387,637

## 財務諸表に対する注記

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ①満期保有目的の債券…該当なし。
- ②子会社株式及び関連会社株式…移動平均法による原価法によっている。
- ③満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券
  - ・時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。
  - ・時価のないもの…該当なし。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産

- 法人税法に定める方法によっている。なお主な耐用年数は以下のとおり。
- ・1998年(平成10年)4月1日以降に取得した建物と同一性を有する建物附属設備並びに2016年(平成28年)4月1日以降に取得したその他の建物附属設備及び構築物…定額法(10年～15年)
- ・什器備品…定率法(2年～15年)

##### ②無形固定資産

- ・ソフトウェアの減価償却は5年間の均等償却によっている。

#### (3) 外貨建有価証券の本邦通貨への換算

外貨建有価証券は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替差損益として別掲せず、評価損益に含めて処理している。

#### (4) 引当金の計上基準

##### ①賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額の内、当期に帰属する額を計上している。

##### ②貸倒引当金

債権について、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2 特定資産の増減額及び残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
国際会議参加支援資金 普通預金	3,869,678	3,000,000	1,675,789	5,193,889
小 計	3,869,678	3,000,000	1,675,789	5,193,889
減価償却引当資産 定期預金	201,719,173			201,719,173
小 計	201,719,173	0	0	201,719,173
インターネット基盤整備基金資産				
外国債券・仕組債	1,072,425,355	399,588,331	431,635,988	1,040,377,698
定期預金	150,000,000			150,000,000
普通預金	34,542,129	446,100,000	351,617,730	129,024,399
小 計	1,256,967,484	845,688,331	783,253,718	1,319,402,097
合 計	1,462,556,335	848,688,331	784,929,507	1,526,315,159

### 3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
国際会議参加支援資産	5,193,889	(5,193,889)	(0)	0
減価償却引当資産	201,719,173	0	(201,719,173)	0
インターネット基盤整備基金資産	1,319,402,097	0	(1,319,402,097)	0
合計	1,526,315,159	5,193,889	1,521,121,270	0

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	17,809,208	3,414,203	14,395,005
構築物	1,285,680	289,278	996,402
什器備品	203,743,718	183,605,802	20,137,916
ソフトウェア	393,679,524	334,321,268	59,358,256
合計	616,518,130	521,630,551	94,887,579

### 5 法人の採用する退職給付制度

確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けている。

### 6 事業費及び管理費の形態別分類

事業費及び管理費の形態別分類は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	事業費			管理費	合計
	IN基盤整備事業費	IP事業費	事業費合計		
給料手当	71,466,530	79,414,655	150,881,185	37,959,894	188,841,079
退職給付費用	4,026,837	4,645,091	8,671,928	2,035,851	10,707,779
賞与引当金繰入額	10,206,792	10,943,808	21,150,600	2,051,435	23,202,035
法定福利費	9,823,177	11,833,800	21,656,977	5,080,031	26,737,008
福利厚生費	248,147	282,294	530,441	155,239	685,680
懇親会費	780,000	0	780,000	952,000	1,732,000
会議費	1,108,977	90,188	1,199,165	1,550,588	2,749,753
交際費	551,164	197,490	748,654	126,842	875,496
旅費交通費	8,593,443	6,223,506	14,816,949	2,168,128	16,985,077
通信運搬費	7,607,740	8,878,449	16,486,189	3,003,147	19,489,336
減価償却費	4,712,068	19,305,123	24,017,191	2,010,394	26,027,585
消耗什器備品費	825,656	939,271	1,764,927	516,519	2,281,446
消耗品費	352,273	396,064	748,337	217,163	965,500
保守料	3,056,817	23,121,231	26,178,048	1,912,305	28,090,353
図書費	28,698	32,648	61,346	17,953	79,299
印刷製本費	1,827,198	2,012,781	3,839,979	1,789,117	5,629,096
光熱水料費	1,850,687	4,573,496	6,424,183	1,157,767	7,581,950
その他賃借料	7,474,013	10,930,592	18,404,605	1,436,849	19,841,454
不動産賃借料	6,733,672	7,660,273	14,393,945	4,212,499	18,606,444
機器賃借料	0	1,306,200	1,306,200	0	1,306,200
火災保険料	13,390	15,233	28,623	8,377	37,000
保険料	41,618	43,913	85,531	23,599	109,130
諸謝金	2,893,565	364,330	3,257,895	13,744,315	17,002,210
損害保険料	0	0	0	274,960	274,960
租税公課	5,491,388	22,818,379	28,309,767	4,651,175	32,960,942
支払負担金	450,858	54,502,972	54,953,830	538,717	55,492,547
研修費	608,624	488,624	1,097,248	169,129	1,266,377
業務委託費	3,962,615	15,194,802	19,157,417	1,465,741	20,623,158
支払手数料	407,894	304,277	712,171	152,885	865,056
雑費	314,947	238,442	553,389	131,122	684,511
合計	155,458,788	286,757,932	442,216,720	89,513,741	531,730,461

## 7 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位:円)

未払事業税	1,350,722
賞与引当金	4,141,241
減価償却超過額	368,346
繰延税金資産合計	5,860,309

## 8 資産除去債務に関する注記

当法人は、オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来オフィスを移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

## 9 金融商品の状況に関する事項

### (1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債)のみである。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

インターネット基盤整備基金資産のうち投資有価証券は、債券、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)であり、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。

### (3) 金融商品のリスクに係る管理体制

#### ① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

#### ② 信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

## 10 指定正味財産から一般正味財産への振替額

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
国際会議参加支援事業費計上による振替額	1,675,789



## 附属明細書

### 1 特定資産の明細

財務諸表の注記2「特定資産の増減額及び残高」にて記載している。

### 2 引当金の明細

(単位:円)

名 称	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	23,636,366	23,202,035	23,636,366		23,202,035

# 財産目録

2024年 3月31日現在

(単位:円)

科目	資料No.	金額	
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
<b>現金預金</b>		591,751,531	
現金 現金手許有高	1	11,844	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	2	132,359,964	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	3	2,432,021	
普通預金 三菱UFJ銀行神保町支店	4	1,675,837	
普通預金 みずほ銀行東京中央支店	5	455,271,865	
未収金	6	42,657,208	
未収利息	7	5,536,076	
インターネット基盤整備基金資産未収利息		5,536,076	
未収税金	8	2,579,886	
前払金 事務局家賃/IX費用等/会計ソフト使用料/保険料	9	1,926,282	
預け金 セミナー収入paypal入金	10	20,633	
前払費用 サーバ等の保守料	11	6,511,116	
<b>流動資産合計</b>			650,982,732
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
<b>国際会議参加支援資金</b>	12	5,193,889	
普通預金:三菱UFJ銀行神保町支店		5,193,889	
<b>減価償却引当資産</b>	13	201,719,173	
定期預金:三菱UFJ銀行神保町支店		201,719,173	
<b>インターネット基盤整備基金資産</b>	14	1,319,402,097	
外貨建債券・仕組債		1,040,377,698	
定期預金:三菱UFJ銀行神保町支店		150,000,000	
普通預金:三井住友銀行東京営業部		129,024,399	
<b>特定資産合計</b>		1,526,315,159	
<b>(2) その他固定資産</b>			
建物附属設備	15	14,395,005	
構築物	15	996,402	
什器備品	15	20,137,916	
ソフトウェア	15	59,358,256	
電話加入権	16	61,843	
敷金	17	13,344,024	
<b>関連会社株式</b> ㈱日本レジストリサービス 株式 1385株	18	140,170,000	
長期前払費用 サーバ等の保守料	19	1,383,844	
繰延税金資産	20	5,860,309	
<b>その他の固定資産合計</b>		255,707,599	
<b>固定資産合計</b>			1,782,022,758
<b>資産合計</b>			2,433,005,490
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	21	34,914,593	
預り金 住民税等/社会保険料	22	2,556,625	
賞与引当金	23	23,202,035	
未払消費税等	24	6,243,600	
未払法人税等	25	5,701,000	
<b>流動負債合計</b>			72,617,853
<b>2. 固定負債</b>			
<b>固定負債合計</b>			0
<b>負債合計</b>			72,617,853
<b>正味財産</b>			2,360,387,637

## 公益目的支出計画実施報告書

### 【2023年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の概要】

1.	公益目的財産額	2,588,456,331 円
2.	当該事業年度の公益目的収支差額((1)+(2)-(3))	867,321,318 円
	(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	797,458,599 円
	(2) 当該事業年度の公益目的支出の額	155,458,788 円
	(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	85,596,069 円
3.	当該事業年度末日の公益目的財産残額	1,721,135,013 円
4.	2の欄に記載した額が計画に記載した見込額と異なる場合、その概要及び理由 計画作成時点の見込に比べ、当該事業における収入が上回ったため、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込額を下回ったものである。なお、公益目的支出計画の残りの実施期間および今後の当該事業の実施規模を鑑みて、実施期間は据え置いている。	

### 【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	(1) 計画上の完了見込み	2036年3月31日
	(2) (1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円	2,588,456,331 円
公益目的収支差額	1,126,823,837 円	797,458,599 円	1,242,337,771 円	867,321,318 円	1,357,851,705 円
公益目的支出の額	145,313,934 円	146,642,918 円	145,313,934 円	155,458,788 円	145,313,934 円
実施事業収入の額	29,800,000 円	95,170,068 円	29,800,000 円	85,596,069 円	29,800,000 円
公益目的財産残額	1,461,632,494 円	1,790,997,732 円	1,346,118,560 円	1,721,135,013 円	1,230,604,626 円

## 独立監査人の監査報告書

2024年4月23日

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
理事長 江崎 浩 殿

白土将志 公認会計士事務所

東京都千代田区

公認会計士

### 監査意見

私たちは、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンターの2023年4月1日から2024年3月31日までの2023事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインII-4の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私たちが監査の過程で得た知識との間に

重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正

に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### **利害関係**

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 監事監査報告書

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
理事長 江崎 浩 殿

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

監事 青木 邦哲 印

2024年4月25日

監事 高田 寛 印

2024年4月25日

監事 高宮 展樹 印

2024年4月25日

私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告及びその他附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上